

金星の科学分科会活動報告

高橋幸弘、中村正人、渡部重十

本分科会は、金星探査ミッションを有意義なものにし、また金星に関わる広範囲な科学を推進するために必要な、情報交換及び戦略策定の場を提供することを目指している。そのために、金星研究が行われている SGEPSS 以外の学会で活躍する研究者との連携を強く進めている。具体的には、日本惑星科学会、日本天文学会、日本気象学会で活躍する研究者に呼びかけ、各学会の中に SGEPSS における本分科会に相当する、分科会或いは連絡会のようなグループを作っていたいただいている。それら 4 学会のグループの連絡組織として、「金星研究サークル」を設置し、各グループの代表数名ずつからなる世話人会を整備している。現在日本惑星科学会では同グループが学会から承認されているが、日本天文学会、日本気象学会でも準備が進んでおり、1 年以内に正式に承認が得られると期待される。学会横断型という性質上、メンバーが集まって会合を持つことが難しいが、これまでに合同学会を利用して以下の 2 回の会合が開かれた。またユニークなホームページの作成も進めている。

第 1 回会合

日時：2002 年 5 月 27 日（月）18:00 - （ミーティング） 19:00 - 21:00（懇親会）

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター内の

C304（ミーティング）及び、レストランさくら（懇親会）

概要：本サークル（分科会）の立ち上げにあたり、主旨説明と今後の活動目標が世話人からあったあと、各学会における分科会などの設立準備状況の報告があった。会場を移して懇親会が開かれ、初対面の多い中で新しい人的交流の発端となった。

参加者：SGEPSS に加え、日本惑星科学会、日本天文学会、日本気象学会から多数の参加があり、約 40 名が顔を揃えた。

第 2 回会合

日時：2003 年 5 月 28 日（水）17:00 - （ミーティング） 19:00 - 21:00（懇親会）

場所：幕張メッセ国際会議場 201B（ミーティング）

Y's（ワイズ）幕張テクノガーデン店（懇親会）

概要：時間が 1 時間半と限られていたが、以下のスピーカによる発表と活発な質疑応答が行われ、研究・開発活動の現状と、近い将来の行動事項が整理された。（敬称略、A: 天文学会、S:SGEPSS、P: 惑星科学会、M: 気象学会）

1. 大型装置を使った観測

- ・すばる望遠鏡への道-あなたもすばる望遠鏡ユーザーに- (渡部潤一 : AP)
- ・ALMA/ASTE で見る金星 (関口朋彦 : A)

2. 金星探査計画

- ・概要 (中村正人 : S,P)
- ・現状報告 (今村 : M,S,P)

3. 研究報告

- ・シミュレーション---球面浅水系でのシア不安定について (伊賀晋一 : M,P)
- ・岡山での赤外分光観測 (大月祥子 : S,P)

4. お知らせ

- ・NASDA の地球観測の現状 (鈴木睦 : M)
- ・HP の立ち上げについて (吉田純 : S)
- ・「遊星人」の金星特集号について (高橋幸弘 : S,P,M)
- ・気球望遠鏡計画への参加呼びかけ (同上)

参加者：日本惑星科学会の総会と時間帯が重なってしまった不運にもかかわらず、SGEPSS 以外からも多くの参加があった。各学会グループからの参加者数は、SGEPSS : 24 名、日本惑星科学会 : 18 名、日本天文学会 : 5 名、日本気象学会 : 10 名、全体で 42 名であった (一部学会の重複あり)。

ホームページ

本サークルでは、一同に集まることの困難なメンバーが、十分な情報交換や科学的な議論ができるように、工夫を凝らしたホームページ (<http://pat.geophys.tohoku.ac.jp/~planet/venus/circle/index.htm>) を整備している。4 学会で活躍する研究者 (学生も含む) なら誰でも登録し、お互いの情報 (顔写真も含む) や書き込みをすることができる。ホームページは一種の journal を想定しており、各学会グループから編集委員と作業委員各 1 名が“誌面”作成に当たっている。金星計画の最新情報も見られ、新しいコンテンツがアップされると、適当な時間間隔で編集委員から ML に E-Alert という形でメンバーに周知される仕組みになっている。サークルメンバーは“論文”に対する質問・コメントを BBS 上で行うことができる。メンバー登録を進めているところであるが、2003 年 8 月現在で、海外も含め 21 名がリストに載っている (SGEPSS : 11 名、日本惑星科学会 : 7 名、日本天文学会 : 3 名、日本気象学会 : 5 名、一部重複)。